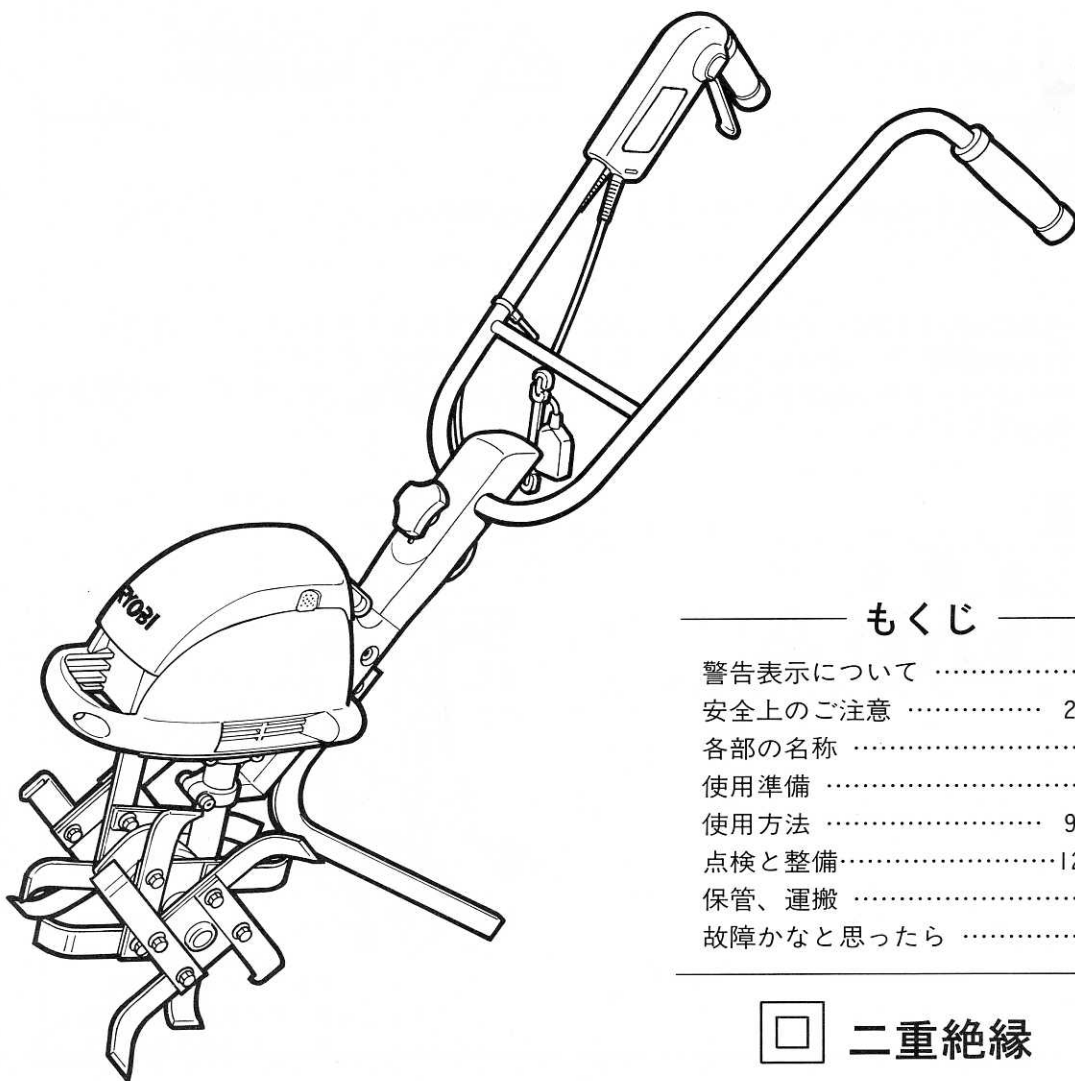


RYOBI® 電気カルチベータ (小型耕うん機)

ACV-750

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のう
えで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

警告表示について	1
安全上のご注意	2～4
各部の名称	7
使用準備	8
使用方法	9～11
点検と整備	12～13
保管、運搬	14
故障かなと思ったら	15

二重絶縁

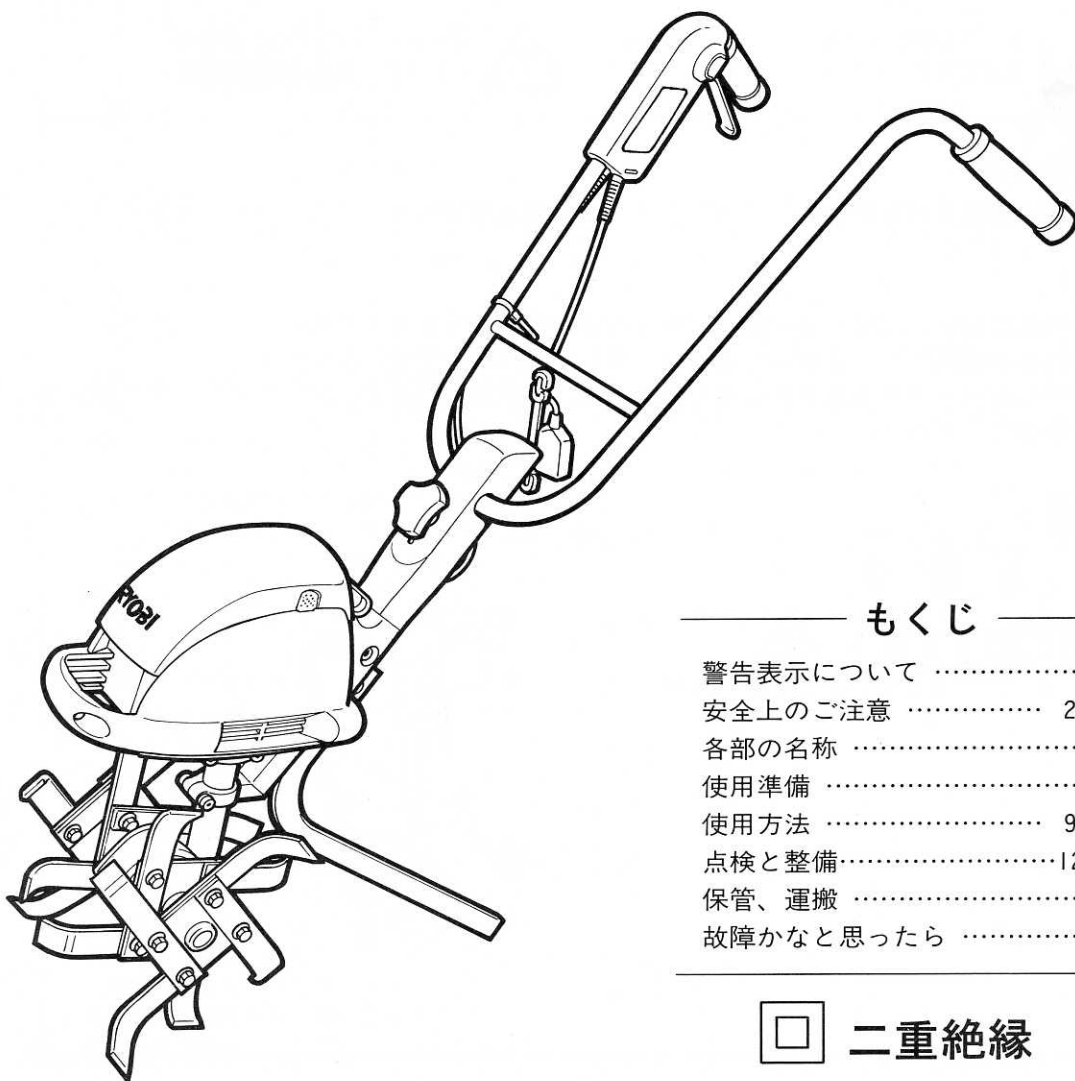
RYOBI®

電気カルチベータ (小型耕うん機)

ACV-750

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のう
えで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

警告表示について	1
安全上のご注意	2～4
各部の名称	7
使用準備	8
使用方法	9～11
点検と整備	12～13
保管、運搬	14
故障かなと思ったら	15

二重絶縁

このたびは、リョービ電気カルチベータをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

警告表示について

●警告マーク

本機、および取扱説明書に警告マークを表示しています。
この表示マークの意味を十分ご理解のうえでご使用ください。



使用前に取扱説明書を最後まで必ずよく読むこと。



感電の恐れがあるので、雨中や湿った場所、またはぬれた場所で使用しないこと。



ロータ(刃物)が回転しているときは手や足などを近づけないでください。



電源コードが損傷した場合は、電源プラグを抜き、新品に交換すること。

●警告ラベル

本機に次の警告ラベルが貼付けてあります。よく読み理解したうえで作業してください。

取扱い

- 警告ラベルに付いた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ警告ラベルを貼ってください。

貼付位置



注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様、必ず守ってください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を、必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネクレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護メガネを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。
 - ・ また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のどがった所に近づけないでください。
11. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



⚠ 警告

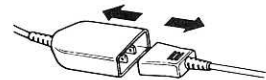
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。



14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物、といし、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。



15. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

16. 不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

19. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、および締付状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書、およびリョービカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて、しゃ音壁を設けるなどしてください。

●カルチベータご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、カルチベータをご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

ご使用前は

1. 機械の知識のない人や、他人の機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。また、本機を人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。
 - ・安全な作業ができないため、けがの原因になります。
2. 子供を乗せたり、近寄らせないでください。
 - ・けがの原因になります。
3. 各部のネジにゆるみがないか、損傷箇所がないか点検してください。
 - ・けがの原因になります。
4. 一般家庭用(单相・交流100V)以外の電源は使用しないでください。
 - ・100Vを超える電圧で使用すると過負荷による発熱、火災の原因になります。
5. ロータ(刃物)は指定のもの以外使用しないでください。けがの原因になります。
 - ・ロータ(刃物)や付属品は取扱説明書に従って、確実に取付けてください。
 - ・交換時は、必ず指定の純正部品を使用してください。
 - ・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷があるロータ(刃物)は、新品に交換してください。
 - ・ロータ(刃物)は確実に取付けられているか点検してください。
6. ロータ(刃物)の取付け、交換の際には、刃先にボロ布などを巻付け、手にも手袋を着用してください。
 - ・誤って手が滑り、ロータ(刃物)でけがをしたり、高温になったウォームギヤケースでやけどをする恐れがあります。
7. 作業場に電線管、水道管やガス管がないことを確かめてください。
 - ・電線管、水道管やガス管などがあるとロータ(刃物)が触れ、感電や漏電、ガス漏れの原因になります。
8. 作業場への出入り、あぜ道の横断の際は、足元に注意し運搬してください。
 - ・転倒し、けがの原因になります。

ご使用中は

9. モータが作動しているときは非常に危険ですので、絶対にロータ(刃物)に触れないでください。けがの原因になります。
 - ・ロータ(刃物)の点検、交換の際には、必ず電源プラグを抜いた後、ロータ(刃物)の回転が停止したことを確認してから行なってください。
10. スイッチを入れるときは、次のことに注意してください。
 - ・スイッチを入れると同時にロータ(刃物)が回転し、けがの原因になります。
 - ・スイッチを入れるときは、ロータ(刃物)の前に立たないでください。
 - ・周囲に人、動物、障害物がないか十分確認してください。
11. スイッチを固定して使用しないでください。
 - ・とっさのときに停止することができず、けがの原因になります。
12. 1回の作業時間は1時間以内とし、10~15分休憩してください。
 - ・疲労のため、事故の原因になります。
13. 作業中は、進行方向に人や動物がいないことを確認してください。
 - ・ロータ(刃物)が当たり、けがの原因になります。
 - ・これらが接近したときは、直ちにスイッチを放し、ロータ(刃物)の回転を止めてください。
14. ロータ(刃物)が延長コードの上を通ったり、延長コードがロータ(刃物)に巻付いたりしないようにしてください。延長コードが破損、切断され、感電の原因になります。
 - ・延長コードは作業が終わった所をはわせてください。
 - ・万一延長コードを切断した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、新しいコードと交換してください。
15. 次の場合は電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したままにしていると、けがの原因になります。
 - ・作業を中止したり、移動するとき。
 - ・作業中に機械から離れるとき。
 - ・機械の調子が悪かったり、異常音が出たとき。
 - ・その他危険が予想される時。
16. ロータ(刃物)部に草などが巻付いたときには、必ず電源プラグを抜いた後、ロータ(刃物)の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
 - ・草などを取除いたはずみで不意にロータ(刃物)が回転し、けがの原因になります。
17. 作業中、ロータ(刃物)を石や硬いものに当たらないようにしてください。
 - ・ロータ(刃物)が破損し、破片が飛散して、けがの原因になります。
 - ・当たった場合は、必ず電源プラグを抜いた後、ロータ(刃物)の回転が停止したことを確認してから、ロータ(刃物)に異常がないか確認してください。
 - ・小石などが当たると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。
18. 誤って落としたりぶつけたりしたときは、ロータ(刃物)や本機に亀裂、変形がないか確認してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
19. 水中での使用は、絶対にしないでください。
 - ・故障の原因になります。

ご使用後は

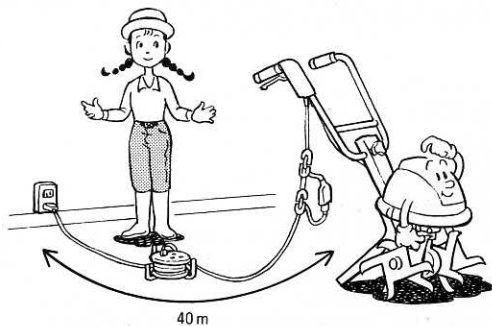
20. 点検、整備をする場合は、本機が冷えるのを待って作業してください。
 - ・エンジン、ウォームギヤケースなど高温になる部分があり、やけどをする恐れがあります。



特長

● 広範囲で使用可能

市販のコードリールと付属の延長コードで、電源から40mの広範囲で使用できます。



● 排気ガスなしでクリーン

エンジン式で発生する排気ガスがないので、ビニールハウスなどの室内で、安心して使用できます。



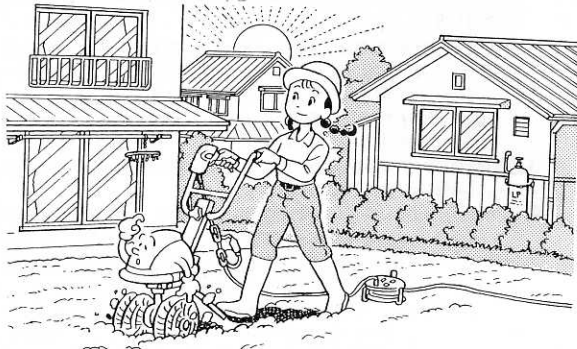
● 長期保管も安心

電気式のため、メンテナンスなしで長期保管が安心です。



● 超低騒音設計

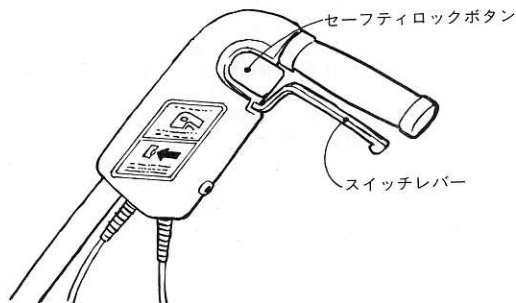
住宅密集地の早朝でも、騒音を気にせず安心して使用できます。



● 簡単なスイッチ操作で楽々スタート

電源をつないでスイッチ操作をするだけの簡単スタート。

また、セーフティロックボタン付の安全設計です。



● 満足できるパワーと耕深

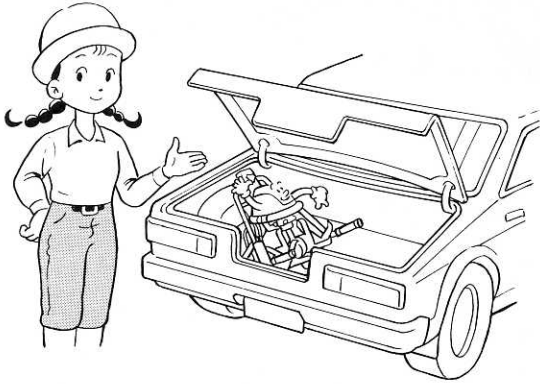
750Wの大パワーでねばりのあるモータを搭載しているため、力強く耕します。

また、モータがロータ(刃物)の真上にあるため、軽量でも深く耕します。ロータ(刃物)と抵抗棒に力を掛ければ、より深く耕せます。



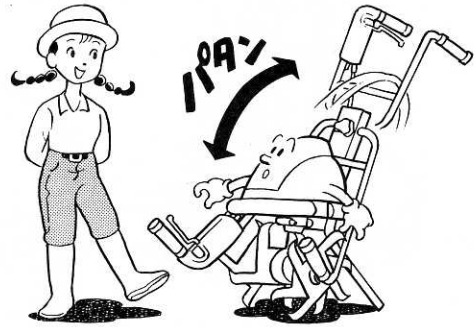
●車のトランクに搭載可能

小型、軽量、コンパクト設計だから、車のトランクにも楽々搭載できます。



●便利な折りたたみ式ハンドル採用

ノブボルトをゆるめるだけで簡単に折りたためます。



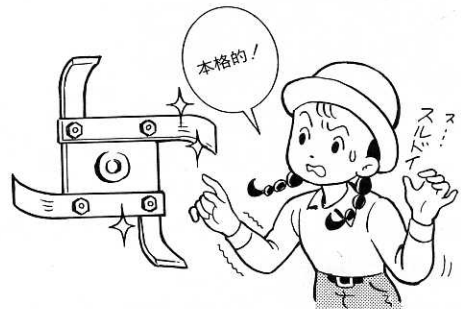
●楽々持運び可能な フロントハンドル付

持ちやすいフロントハンドルで、移動のときに便利です。



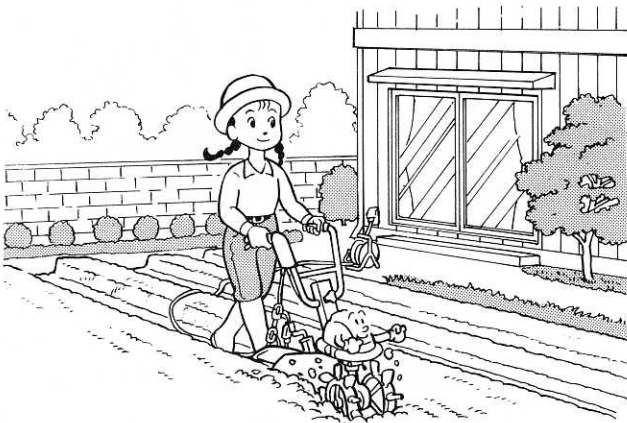
●ロータ(刃物)は本格的な フレンチ刃採用

ロータ(刃物)が力強く回転し、ぐんぐん深く耕せます。



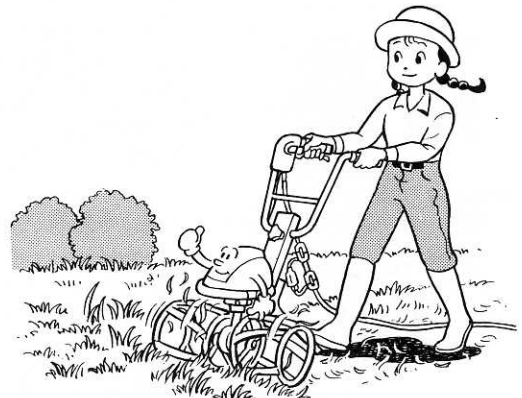
●別販売品でうね作り

別販売品の培土器と培土けん引車輪を装着すれば、きれいなうねが簡単に作れます。

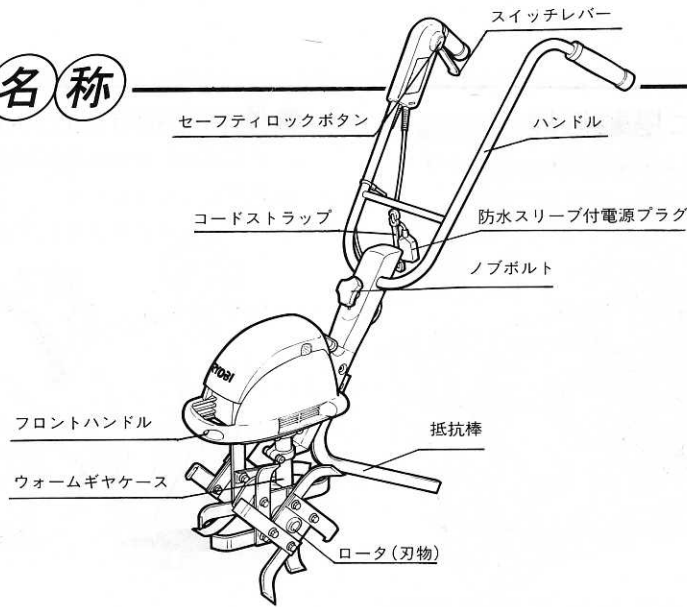


●別販売品で除草作業

別販売品のスパイラルロータを装着すれば、庭や果樹園などの除草が楽に行なえます。



各部の名称



●仕様

型 式		A C V - 7 5 0	
モ ー タ	電 源	V	単相・交流100V
	周 波 数	Hz	50/60
	電 流	A	8.5
	消 費 電 力	W	750
能 力	絶 縁 方 式		二重絶縁
	耕 う ん 幅	mm	260
装 置	耕 深	mm	100
	操 作		両手ハンドル、折りたたみ式
寸 法	ロータ (刃物)	mm	4 枚刃 φ250×t3.2
重 量	長さ×幅×高さ	mm	760×490×985 (660×490×330)
		kg	13.2



二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間を異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造をいいます。このためアース(接地)する必要がありません。

※記載寸法の()内は、ハンドルを折りたたみ抵抗棒を外した寸法です。

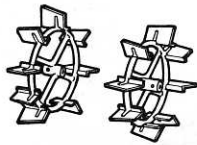
●通常付属品

- 延長コード (10 m、芯線径1.25mm²、12 A 用)
- 抵抗棒

●別販売品

●培土けん引車輪

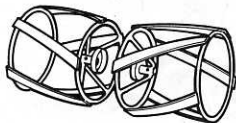
用途…中耕、培土作業時のけん引



区 分	
外 径(mm)	φ250
リム径(mm)	φ160
ラグ数(枚)	8
ラグ幅(mm)	75
耕 幅(mm)	210

●スパイラルロータ

用途…庭や果樹園などの除草作業、果樹園の中耕



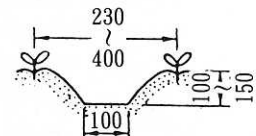
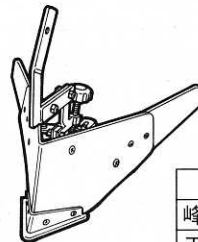
区 分	
外径(mm)	φ240
幅 (mm)	230
刃物(枚)	5
耕幅(mm)	508

●用途

- 耕うん、中耕、除草作業

●培土器

用途…うね立て、培土作業



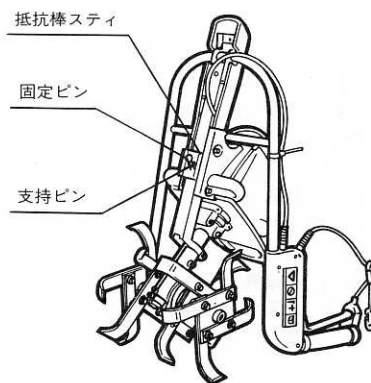
区 分	
峰 金 高 さ(mm)	148
刃 先 幅(mm)	100
ハッド板開閉範囲(mm)	225~340

※取付方法、および使用方法については、P.10~11 別販売品使用方法をお読みください。

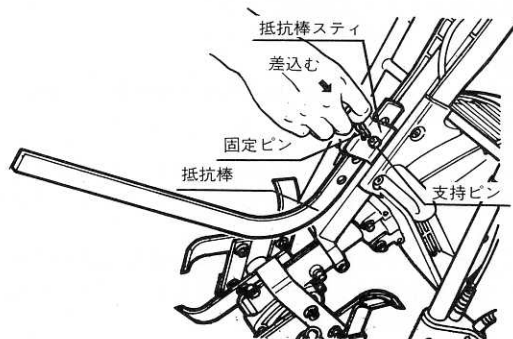
使用準備

●抵抗棒

1. 抵抗棒ステイに取付けてある、固定ピンのリング部を持ち、固定ピンを抜いてください。
その後、支持ピンを抜いてください。



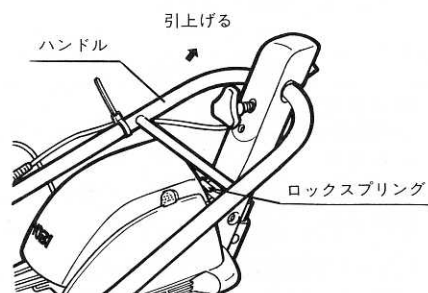
2. 抵抗棒を抵抗棒ステイに差込み、抵抗棒の希望の穴位置と抵抗棒ステイの穴を合わせてください。
自分の身体と土の状態により、抵抗棒の穴位置を決めてください。
抵抗棒は4段階に調整できます。



3. 合わせた穴に支持ピンを差込み、支持ピンにある固定ピン用の穴に固定ピンを差込んでください。

●ハンドル

1. ハンドルを手前に引上げ、ロックスプリングから外した後、ハンドルを起してください。

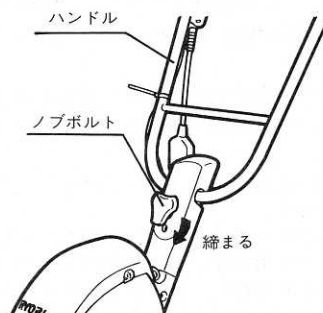


2. ノブボルトを右に回し、ハンドルを固定してください。

(注)

ノブボルトはゆるみ防止のため、スプリング付となっています。

作業中ハンドルがガタつかないように、ノブボルトをしっかりと締付けてください。



使用方法

● 運転

⚠ 警告

- ・一般家庭用(单相・交流100V)以外の電源は使用しないでください。
- ・スイッチを入れるときは、周囲に人、動物、障害物がないか確認し、機械をしっかりと固定してください。
- ・スイッチを入れるときは、ロータ(刃物)の前に立たないでください。
- ・スイッチを入れると同時にロータ(刃物)が回転しますので、安全を十分に確かめてから行ってください。
- ・スイッチを固定して使用しないでください。
- ・作業中は、進行方向に人や動物がいないことを確認してください。
- ・ロータ(刃物)が延長コードの上を通ったり、延長コードがロータ(刃物)に巻付いたりしないようにしてください。
- ・ロータ(刃物)に草などが巻付いたときには、必ず電源プラグを抜いた後、ロータ(刃物)の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。

1. 本体電源コードの電源プラグを、延長コードのコネクターに差込んでください。

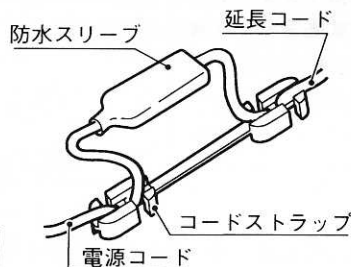
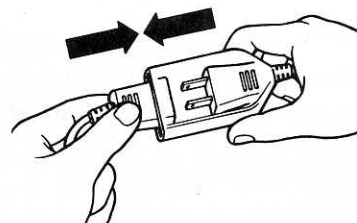
(注)

コネクター接続部分は、防水スリーブで覆うようにしてください。

※延長コードは付属のものを使用し、長さが不足している場合は、できるだけ短く十分な太さのコードをお使いください。

延長コードが細すぎたり長すぎると電圧が下がり、作業能力が低下するとともに、モータの故障の原因になります。

リール(巻取りタイプ)でご使用になる場合には、リールに巻かれているコードをすべて引出した状態でご使用ください。



延長コード長さ	別売延長コード芯線径
20mまで (付属品10m+別売延長コード10mまで)	1.25mm以上 (12A用以上)
40mまで (付属品10m+別売延長コード30mまで)	2mm以上 (15A用以上)
40m以上	延長不可

2. コードの接続部にゆとりを持たせ、延長コードを図のようにコードストラップに通してください。コードの抜けが防止できます。

3. 延長コードの電源プラグを、一般家庭用(单相・交流100V)の電源コンセントに差込んでください。

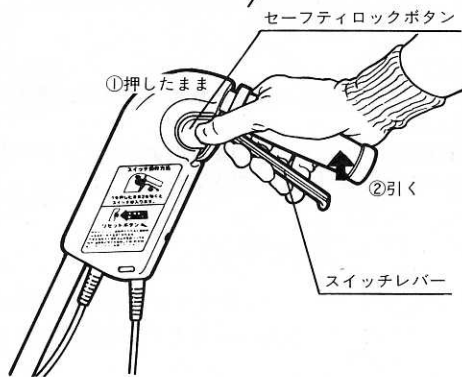
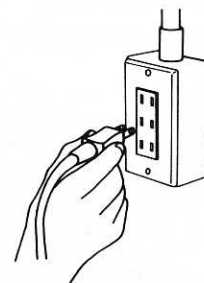
4. セーフティロックボタンを押えた状態で、スイッチレバーを引き、電源スイッチを入れてください。

(注)

・本機は安全のため、セーフティロック機構を採用しています。

セーフティロックボタンを押えた状態で、スイッチレバーを引かないと、電源スイッチは入りません。

・作業をする前に、必ずスイッチ操作を行ない、スイッチレバーを放したとき、元の位置に戻ることを確認してください。

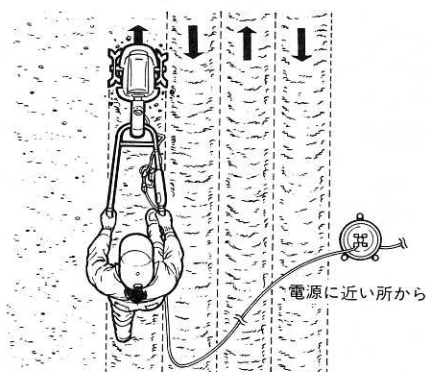


5.ロータ(刃物)が回転することを確認してから、作業を始めてください。
下記の「基本的な作業」を参照にしてください。

6.作業を終えるときには、スイッチレバーを放し、ロータ(刃物)が停止したことを確認してから、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●基本的な作業

- ハンドルを両手でしっかり握り、移動が安全で容易な体勢を作ります。
- スイッチ操作を行なえば、ロータ(刃物)が回転し、耕うん作業が行なえます。
- ロータ(刃物)と抵抗棒に力を掛ければ、より深く耕せます。
- 耕うんは、電源コンセントに近い所から行なってください。
延長コードは作業が終わった所をはわせてください。



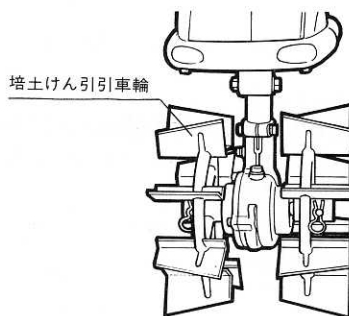
別販売品使用方法

●中耕、培土、除草作業を行なう場合は、別販売品をお買い上げいただき、次の要領で使用してください。

●培土けん引車輪

用途…中耕、培土作業時のけん引

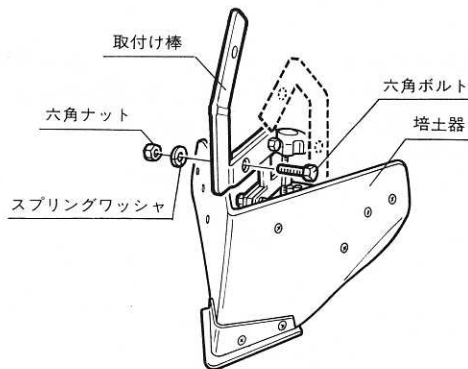
- ロータ(刃物)を外し、培土けん引車輪を取付けてください。
- ※ロータ(刃物)の取付け、取外しは、P. 12を参照してください。
- ※中耕、培土を同時に行なう場合は、別販売品の培土器を併用して作業を行なってください。
培土器については、P. 11をお読みください。



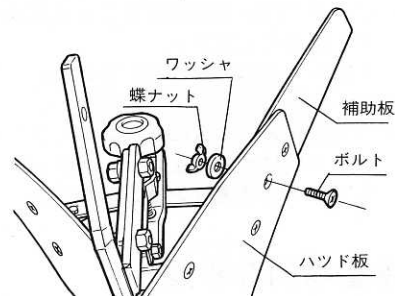
●培土器 用途…うね立て、培土作業

ロータ(刃物)を取外し、培土けん引車輪を使用すれば、よりきれいにうね立て及び、培土作業が行えます。

- 1.本機から抵抗棒を外してください。
- 2.培土器の取付け棒に取付けてある六角ナットをゆるめ、スプリングワッシャ、六角ボルトを取外してください。
その後、取付け棒を前側に倒し、取付け棒の穴と支持棒の穴を合わせ、六角ボルト、スプリングワッシャ、六角ナットを取付け、締付けてください。



3.補助板をハツド板に取付けます。
 付属のボルト、ワッシャ、蝶ナットで取付けてください。

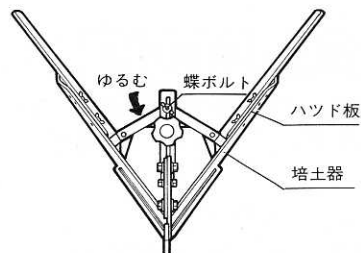
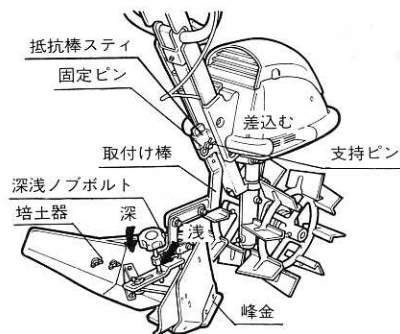


4.培土器の取付け棒を抵抗棒ステイに差込み、抵抗棒ステイの穴と培土器の穴を合わせて、支持ピンと固定ピンを取付けてください。

5.培土器の峰金が地面と水平になるように、深浅ノブボルトを回してください。

6.うね立てを行なってください。
 うねが浅いときには深浅ノブボルトを左に、うねが深すぎるときには右に回し、作りたいうね高さを調整してください。

7.うねの間隔は、培土器の蝶ボルトをゆるめ、ハツド板の開閉で調整してください。



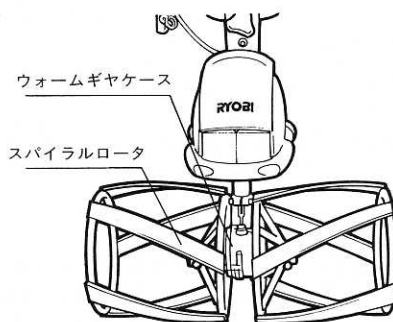
●スパイラルロータ

用途…果樹園の中耕、庭や果樹園などの除草作業

●ロータ（刃物）を外し、スパイラルロータを図のような方向に取付けてください。

※ロータ（刃物）の取付け、取外しは、P. 12を参照にしてください。

●作業をする場合は、ウォームギヤケース部分の刈り残しがないように、多少左右に振りながら行なうと、効率よく作業が行なえます。



点検と整備

⚠ 警告

・必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてから行なってください。

お買い上げいただきましたカルチベータをいつまでも調子よく保つために、定期点検を行なってください。

点検項目	点検時間	作業前点検	50時間毎
ロータ（刃物）		○	
ウォームギヤケース			○（初回20時間）

●ロータ（刃物）

⚠ 警告

- ・ロータ（刃物）の取付け、交換の際は、刃先にボロ布などを巻付け、手にも手袋を着用してください。
- ・ロータ（刃物）は確実に取付けられているか点検してください。

- 使用後は汚れを取除き、破損、異常がないかを点検してください。
- ロータ（刃物）部に草などが巻付いたときには、必ず電源プラグを抜いた後、ロータ（刃物）の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。

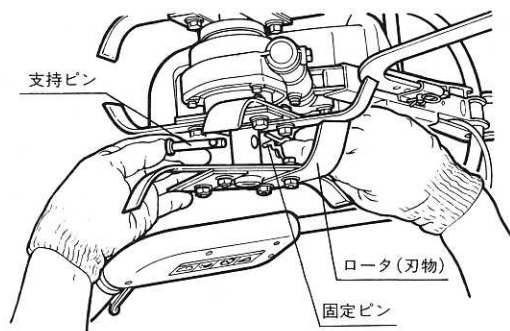
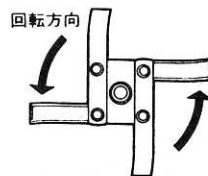
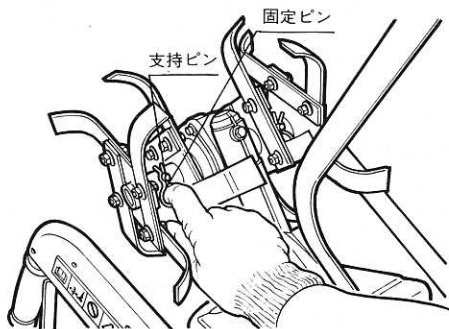
取外し

- 固定ピンを抜き、支持ピンを外してください。その後、ロータ（刃物）を回転軸から外してください。

取付け

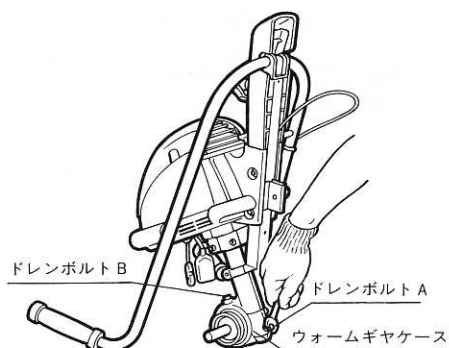
- ロータ（刃物）の向きに注意して、元の状態（右図の向き）に取付けます。

- ロータ（刃物）を回転軸に入れ、支持ピン用の穴位置を合わせてください。次に、この穴に支持ピンを通し、固定ピンを固定ピン用の穴に押込み入れてください。
（注）固定ピンが確実に入っていることを確認してください。



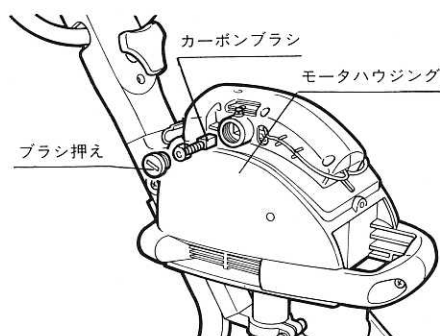
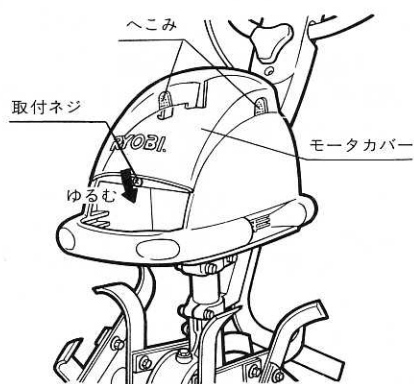
●ウォームギヤケース

1. 抵抗棒、ロータ（刃物）を外してください。
※ロータ（刃物）の取付け、取外しはP.12を参照
にしてください。
2. ドレンボルト A、B をお手持ちのスパナなどで外し、本機を傾け、古いオイルを抜いてください。
3. オイルの抜き取りを十分行なった後、ドレンボルト A をしっかり締付け、新しいオイル(約70cc)をドレンボルト B より給油してください。
(注)
ドレンボルトパッキンに傷などがある場合は、新品と交換してください。
4. ドレンボルト B をしっかり締付けてください。
5. 使用オイルは、リョービ別販売品のギヤオイルを使用してください。
〔その他、日本サン石油 S N E P 460、
コスモギヤー W 460 のオイルも使用できます。〕



●カーボンブラシ

1. モータカバー取付ネジを、お手持ちの⊕ドライバを使用しゆるめて外してください。
モータカバー両側のへこみを押え、爪を外し、モータカバーを取外してください。
2. モータハウジングの両側にあるブラシ押えを、お手持ちの⊖ドライバを使用し取外してください。
3. 古いカーボンブラシ(左右2個)を取外し、新しいものと交換してください。
4. ブラシ押え、モータカバーを元のように取付けてください。



△ 警告

・必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてから行なってください。

●各部取付ネジの点検

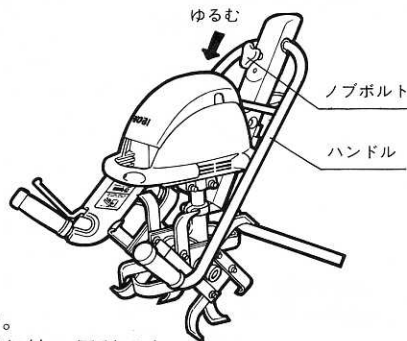
●ネジなどのゆるみがないか確認してください。もしゆるみがある場合は締め直してください。

●使用後の手入れ

●油よごれなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹼水をつけた布で本体をふいてください。

●ロータ（刃物）の手入れ

- ロータ（刃物）は常に手入れをしてください。
- ロータ（刃物）を水洗いする場合は、モータケースの側面、後ろ側の風窓から、水が進入しないようにしてください。



●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- お子様の手の届く範囲や、落下の恐れがある所は避けてください。
- ※ノブボルトをゆるめ、ハンドルを折りたたむと、場所を取らず収納に便利です。

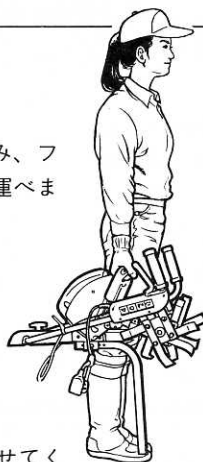
●修理について

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
- その他、部品のご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

運搬

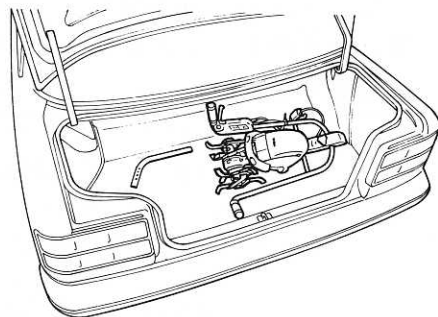
●持運び

本機を持運ぶ場合は、ハンドルを折りたたみ、フロントハンドルを持つと、バランスよく持運べます。



●車載

1. 本機から抵抗棒を外し、車のトランクに載せてください。
2. 本機が倒れないように、あて木、ロープなどで固定してください。



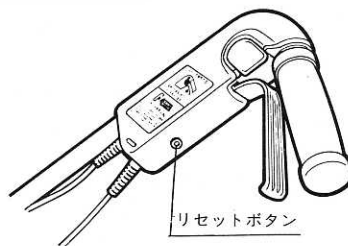
故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症 状	原 因	処 置
スイッチを入れてもロータ(刃物)が回らない	家のブレーカが作動していませんか。	電源スイッチを解除し、家のブレーカを復帰させた後、約30秒後に電源スイッチを入れてください。
	スイッチ操作をまちがっていませんか。	セーフティロックボタンを押えた状態で、スイッチレバーを引き、電源を入れてください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	コンセントに差込んでください。
	コードが途中で切れたり、断線していませんか。	延長コードを取替えてみるか、他の電気用品でお確かめください。
	過負荷保護装置が作動していませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、原因を取除いた後、約30秒後にリセットボタンを押してください。
	カーボンブラシが摩耗していませんか。	新品のカーボンブラシに交換してください。
作業中に急に音が変わったり振動が大きくなった	ロータ(刃物)部に草などが巻付いていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、草などを取除いてください。
	ロータ(刃物)が欠けたり、変形したりしていませんか。	新品のロータ(刃物)に交換してください。
	本体を誤って落としたりして、部品が変形したり破損していませんか。	新品の部品に交換してください。
過負荷保護装置が作動する	ロータ(刃物)部に草などが巻付いていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、草などを取除いてください。
	電源が単相・交流100Vになってますか。	一般家庭用(単相・交流100V)の電源コンセントに差込んでください。
	延長コードの太さが細すぎませんか。	P.9を参照に、十分の太さの延長コードをご使用ください。
	延長コードの長さが長すぎませんか。	最低限の長さで使用してください。
	延長コードをリールに巻いたままではありませんか。	リールに巻かれているコードをすべて引出してご使用ください。

●過負荷保護装置

- 使用中、ロータ(刃物)部に草などが巻付いたり、モータに過負荷がかかると、過負荷保護装置が働き電源が切れます。
作業を再開する場合は、必ず電源プラグを抜き、過負荷の原因を取除いた後、約30秒後にリセットボタンを押し、作業を再開してください。



- これらのチェックを行なっても、正常に作動しない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

部品のご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI 発売元 リョービ販売株式会社 リョービ株式会社 製造元